

森づくり最前線

塩那森林管理署 馬頭森林事務所 森林官 知野 隆貞

私の勤務している馬頭森林事務所は、栃木県北東部の八溝山系に位置し、那珂川町及び那須烏山市にかかる約2800haの国有林を管理しています。

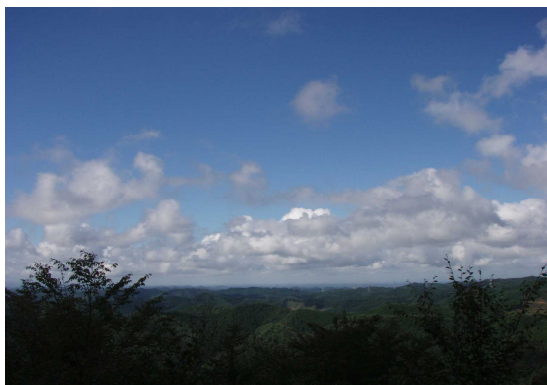
管内の森林は、人工林が90%を占め優良なスギ・ヒノキが多く、標高も100m～700mと低山であり、獣害等も特になことから事業が盛んで、年間を通じて植付から伐採まで各種の作業を実施しています。

平成27年度は、同じ八溝山系に位置する須賀川森林事務所及び伊王野森林事務所と併せ約5500㎡の素材を生産しました。

また、栃木県・森林組合・製材業者など地域が一体となり「とちぎ八溝材」のブランド化を進めており、木材の安定供給・販売に積極的に取り組んでいます。

管内には低山ながら茨城の百名山に選ばれている尺丈山があり、山頂付近からは、八溝山地、阿武隈高地をはじめとして、奥日光、那須連山、筑波山などの山々を望むことができます。登山道がよく整備されており比較的登りやすく、初心者でも気軽に登れ、休日は子供連れのハイキングで賑わっています。

栃木県と茨城県境には、霊峰・鷲子山神社が存在します。塩那署とは昔から関係が深い神社で、こちらでは「不苦労」苦勞知らず、「福来朗」



尺丈山頂から八溝山地を望む

福が来る人、「福老」幸福な老人、などと記して、幸運を呼ぶ鳥として、また、神様のお使いとしてフクロウが信仰されています。境内には地上7メートルの巨大なフクロウ像があり、運氣上昇のパワースポットとして、全国より多くの方々が来山されます。



幸運を呼ぶフクロウ像

管内には(株)トーセンの那珂川工場があり、間伐材の利用を主体とした生産及び、木材バイオマス発電・熱利用事業を行っています。

木質バイオマス発電所は、2500kWの規模で、5000世帯分の電気を発電します。

この発電所の大きな特徴は、敷地内にある製材所と一体となった木材利用ができることです。

また、製材利用できない材は発電の燃料として利用し、さらにその廃熱を、マンゴー栽培等に利用しています。

製材工場・発電所により、約10万㎡の木材が取引されるようになり、雇用が創出されました。

また、「木の駅プロジェクトなかがわ」では、町民から木材を買い取り、地域通貨で支払うことで、これまで大型スーパーや量販店で購入されていたものが、地域の商店街で購入されるようになり活性化しました。このような那珂川町と一体となった取り組みが「林業による地域創生」の姿としてますます期待されています。

馬頭事務所に配属され2年目に入りました。現在管内では、昭和20年～30年代に植林された部分林・分収造林が伐期を迎えています。

組合員や造林者の方からは「まさかこんな時代になるとは・・・」と



木質バイオマス発電所

さみしい声も聞かれますが、木材資源の利用が促進され、山村の林業・林産業が見直され、地域の活性化が図られ、当時と同じように希望を抱けるような時代になって欲しいと思います。日々の業務に当たっていききたいと思っています。

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL(027) 210-1158
FAX(027) 230-1393